

## 令和7年8月伊勢原市教育委員会定例会議事録

### 1 開催日時

令和7年8月26日（火）午後2時00分から午後2時27分まで

### 2 開催場所

伊勢原市役所 3階 第3委員会室

### 3 教育長及び委員

教育長	宮村 進一
委員（教育長職務代理者）	福田 雅宏
委員	濱田 光子
委員	桑原 公美子
委員	長塚 繁昭

### 4 説明のために出席した職員等

教育部長	熊澤 信一
学校教育担当部長	今井 仁吾
歴史文化推進担当部長	
（兼）歴史文化担当課長	立花 実
参事（兼）教育総務課長	瀬尾 哲也
教育総務課施設担当課長	畠山 純徳
参事（兼）学校教育課長	守屋 康弘
教育指導課長	西野 厚志
教育センター所長	田中 美和
社会教育課長	青木 優
参事（兼）図書館・子ども科学館長	林 かをり

### 5 会議書記

教育総務課係長	窪田 暁大
---------	-------

### 6 傍聴人

0人

### 7 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 教育長報告

（1）令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

【資料1：教育指導課長】

（2）令和7年度 伊勢原市中学校部活動の大会結果について

【資料2：教育指導課長】

その他

----- ○ -----  
午後 2 時 0 0 分 開会

○教育長【宮村進一】 定刻となりました。

本日の出席委員は 5 名、教育長及び在任委員の過半数以上が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に基づき、ただいまから教育委員会議を開催いたします。

それでは、教育総務課長から、資料の確認をお願いします。

○参事（兼）教育総務課長【瀬尾哲也】 （資料確認）

○教育長【宮村進一】 皆さん、よろしいでしょうか。

○教育長及び委員全員 （了承）

----- ○ -----  
日程第 1 前回議事録の承認

○教育長【宮村進一】 それでは、日程第 1、前回議事録の承認について、お願いします。

○教育長及び委員全員 （承認）

----- ○ -----  
日程第 2 教育長報告

○教育長【宮村進一】 続きまして、日程第 2、教育長報告です。本日は 2 件です。

まず 1 件目「令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について」教育指導課長から説明をお願いします。

○教育指導課長【西野厚志】 「令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について」資料 1 を御覧ください。

令和 7 年度の調査は、4 月 14 日から 4 月 17 日に実施され、対象は小学 6 年生と中学 3 年生、教科は国語、算数または数学、理科で行われました。調査は前学年までに含まれる指導事項を原則とし、資料 1 つ目の■に記載の①と②の力をはかるために出題されています。

2 つ目の■ですが、7 月 31 日に文部科学省から小学校調査、中学校調査の速報が出ました。今回の調査で初めて、中学校の理科について、「IRT スコア」が示されました。「IRT スコア」は、文部科学省の「CBT システム」を活用しています。これにより、幅広い領域での調査が可能になるとともに、インターネットを活用したタブレット端末を使用することで調査の効率化を図っています。今後の対応については、3 つ目の■をご覧ください。今回の調査結果を活用し、各校での分析と考察等を行う予定です。

市教委としましては、各学校の取組を指導・支援するとともに、市全体の結果

分析を行い、その結果や考察、授業改善や充実に向けた見解等を11月から12月頃にホームページで公表予定です。

また、学校では、個人別の調査結果を児童生徒及び保護者に返却するとともに、結果分析を踏まえた個別指導を行います。さらに、各校においても調査結果を分析し、成果や課題、取組の重点、それから各家庭への依頼事項等を取りまとめて、保護者や地域の方へ周知を図る予定です。

○教育長【宮村進一】 ただいまの説明につきまして、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

○委員【福田雅宏】 ホームページで公表するかどうかは別として、可能であれば、学校別の分析結果の傾向を見てみたいですね。また、単年度の結果だけでなく、ここ2～3年の経年変化を見たいです。

○教育指導課長【西野厚志】 学校では、経年変化も見て、授業改善を行うなど、子どもたちへ還元しています。また、あわせて御家庭での御協力をお願いするため、通知等でも分析結果を示していきたいと思っています。

○委員【福田雅宏】 ありがとうございます。

○教育長【宮村進一】 よろしいですか。ほか、いかがでしょうか。

○委員【桑原公美子】 具体的な試験内容は把握していませんが、今は新しい学力の3要素でやっていらっしゃると思います。私たちの時代は暗記の知識・技能のほうが多いので、それ以外の2つの要素を測ることが難しいというのは私も大学でやっていて分かるんですが、例えばこの調査の中で、昔ながらの知識のポイントは高いのだけれど、ほかの部分が弱いのか、それとも新しいやり方で習ってきているので、今の日本の学力の3要素がバランスよく身につけているのかというのを、学校ごとじゃなくていいんですが、伊勢原の小学6年生、中学3年生が新しい学力をどのように身につけているのかを見られるといいと思いました。

○教育指導課長【西野厚志】 8月21日に文部科学省から、全国的な課題や傾向も出てきております。特に思考や活用に関する部分については、子どもによって差が出ると思います。そういった全国的な傾向も踏まえたうえで、授業改善を図っていききたいと考えています。

○委員【桑原公美子】 先ほど、福田委員がおっしゃったように経年変化で見られれば、取組の成果に対する分析がしやすいと思うので、できれば経年変化も見たいです。

○教育指導課長【西野厚志】 ありがとうございます。

○教育長【宮村進一】 ほか、いかがでしょうか。

私のほうから。IRTスコアの脚注がありますが、この上の表の数値は、児童生徒の学力スコアを推定した値だという理解でよろしいですか。

○教育指導課長【西野厚志】 はい、そうです。

○教育長【宮村進一】 そうすると、伊勢原市はこの数値が高いという見方でよろしいということですか。

○教育指導課長【西野厚志】 はい。ただ、IRTスコアは、IRTバンドという枠が決められていて、例えば455から550までの枠を1つの帯としています。この枠の数値の幅が広いので、伊勢原市の数値が優れているのかどうかは、この数字だけで判断することは難しいかと思っています。

○教育長【宮村進一】 分かりました。ほか、いかがでしょうか。

では、今回の結果は、この後、市全体の分析ということで、昨年度までの資料をホームページとかで見ますと、もうその中に学力の3要素ごと、設問ごとに結果も出ていますし、また、経年で比べるとなると年度によってその問題の難易度が異なったりするので難しい部分はあるんですが、できる範囲で見える化に努めていただきたい。そして、一番大事なのは、どうしても平均回答率というところに目が行きますが、教科調査以外の児童生徒の質問紙を見て、子どもたちの意識ですとか学校の取組についても、例年、分析をしてくれていますので、また丁寧な分析をよろしくお願いします。

では、よろしいでしょうか。

それでは、教育長報告2件目になります。「令和7年度 伊勢原市中学校部活動の大会結果について」教育指導課長からお願いします。

○教育指導課長【西野厚志】 それでは、引き続き中学校の部活動大会の結果でございます。資料2を御覧ください。

7月の市内大会から始まりまして、中地区大会、そして県大会、関東、全国へつながるもののうち、県大会以上の結果をまとめた資料となっています。

成瀬中学校の演劇部は、3月に関東中学校演劇発表会を経て、8月21日、22日に、静岡県菊川文化会館で全国大会に出場しました。

演劇に限らず、どの大会も各選手、精いっぱい頑張った、最後まで粘り強く頑張ったという報告を受けております。

全国、関東大会に出場した学校チームに対しては、伊勢原市から中体連また校長会へ交付金という形で、生徒の旅費等の助成事業を実施いたしました。

以上でございます。

○教育長【宮村進一】 何か御質問、御意見があればお願いします。

○委員【濱田光子】 バレーボールの女子のクラブレリーフとありますが、部活動の名前ですか。

○教育指導課長【西野厚志】 クラブレリーフは、伊勢原市にあるバレーボールチームです。大会には、合同チームや地域のクラブチームも参加することが認められています。

○教育長【宮村進一】 このチームについては、学校の部活動の一つというよりも、地域のクラブチームとして中体連の大会に参加していると。構成員は市内の中学生と市外からの中学生が一緒に活動をしているということです。

○委員【濱田光子】 バレーボール以外にもクラブチームで出場した競技はあるんですか。

○教育指導課長【西野厚志】 今年度は、バレーボールのクラブレリーフのみです。

○委員【長塚繁昭】 バレーボール女子は市内に地域のクラブチームがあって、そのチームが中体連の大会に出ることを認められたわけですが、勝ち進めば、関東大会や全国大会にも出場が可能になるのですか。

○教育指導課長【西野厚志】 可能です。

○委員【長塚繁昭】 全ての種目というわけではないですね。

○教育指導課長【西野厚志】 私の知っている範囲では、中体連関係は全て可能だと認識しています。

○委員【長塚繁昭】 他市も同様ですか。

○教育指導課長【西野厚志】 はい。横浜市や川崎市では、水泳の大会において、スイミングスクールとして参加で出場した事例があると聞いています。

○委員【長塚繁昭】 ありがとうございます。現在、文部科学省が進めている部活動の地域移行では、土日はなるべく地域で部活をやるという方向性になっています。そうすると、土日に一生懸命活動している地域のクラブは、中学生も預かっているわけだから、私たちも中学校の大会に出たいという話になって、クラブチームは出ておられる。すると、ほかの種目でもそういうことがどんどん増えてくるはずですね。以前は、部活動の種目によって、出場が制限されていた気がするのですが。

○教育長【宮村進一】 こうやって新たに生まれるようなクラブチームもあれば、種目によっては、サッカーや野球など、もともと地域に、学校の部活とは別にチームがある競技もあります。委員がおっしゃったように、種目によっては、どこまでの範囲で、どのレベルの大会まで参加が認められるかというのは、改めて現状を整理していく必要があるなと思っています。前もお伝えしましたが、本市の場合はこれまで学校の部活動が担ってきた意義を重く捉えており、現状のスタイルを基盤としながら、それでも種目によっては、部員が減って、合同チームの編制が必要な種目もあります。いろんなスタイルで、子どもによって様々な選択肢が必要になってきていると思いますので、しっかり検討していきたいと思っています。

○委員【長塚繁昭】 もう1点あるのですが、この県大会の期間中、7月30日に発生した地震による津波で避難指示がありましたが、大会運営に影響はありましたか。

○教育指導課長【西野厚志】 当日行われた全ての大会が延期になりました。

○委員【長塚繁昭】 分かりました。

○教育長【宮村進一】 ほか、いかがでしょうか。

○委員【福田雅宏】 大会結果とは別ですが、中体連の所管は文科省ですか。

○教育長【宮村進一】 学校の部活動自体は、いわゆる教育活動の一環とはされていますけれども、実際の大会運営は中学校体育連盟ないしは中学校文化連盟という、基本的には学校の教員が主体となった任意組織が行っています。部活動を行政として所管するのは、学校部活動については、スポーツ庁と文化庁です。

○委員【福田雅宏】 夏時期の大会は、子どもたちの熱中症が心配なので、中体連が大会の開催時期等を考慮することが可能なのかという趣旨で聞きました。

○教育長【宮村進一】 熱中症対策については、スポーツ庁、文化庁から中体連に話はしていると思います。また、部活動の在り方を検討している中では、そもそも中学校の全国大会自体が必要かという議論も始まっていて、既に全国大会を廃止した種目もあります。高校生になると、野球では甲子園とか、全国の頂点を目指すということですけど、中学生の限られた活動時間の中で全国大会は必要ないのではないかということが議論されています。熱中症対策という視点からだけではなく、そうした議論が今後も進んでいくと、場合によっては時期の見直し

という話も出てくるかもしれません。一方で、部活動が一定の期間を確保して大会を開催するには、夏休み期間中が適当という考え方もあります。

○委員【福田雅宏】      ありがとうございます。

○教育長【宮村進一】      ほかには、よろしいですか。ありがとうございます。

----- ○ -----

#### その他

○教育長【宮村進一】      続きまして、その他でございます。委員の皆さんから何かございますか。よろしいですか。

事務局から何かございますか。よろしいですか。

それでは、ないようですので、最後に来月の定例会日程について、説明をお願いします。

○参事（兼）教育総務課長【瀬尾哲也】      今回は9月26日の金曜日、午後2時からとなります。場所は議会第3委員会室での開催となります。

以上です。

○教育長【宮村進一】      それでは、本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

----- ○ -----

午後2時27分      閉会